



**女子も男子もおめでとう!!
努力が実った、地区中学校駅伝競技大会**

5月12日、新庄市中核工業団地にて地区中学校駅伝競技大会が行われ、最上中女子チームが9年ぶりの優勝を果たし、男子チームも5位入賞という健闘を見せました。

選手の皆さんは3月から早朝練習に参加し、走り込みを行なってきたとのこと。忙しい学業の合間を縫っての懸命な努力が実を結びました。優勝した女子チームは、9月8日に天童市で行われる県大会へ出場します。引き続き応援のほどよろしくをお願いします。

**0.1秒でも速く、1cmでも高く遠くへ!
第38回最上町小学校陸上競技大会**

最上町小学校陸上競技大会が6月15日、向町小学校・新北最上校グラウンドを会場に開催されました。肌寒い気温の中、選手はこれまでの練習の成果を発揮するため真剣に競技に臨んでいました。

また、競技を行なっていない時には、自校の選手だけでなく他校の選手も一生懸命応援していました。

- 選手の皆さん、お疲れさまでした。
- 【大会新記録】 6年男子60mハードル 10秒4 菅 遙斗さん(大堀小)
 - 【大会タイ記録】 6年男子100m 14秒3 菅 颯人さん(大堀小)



キラリ☆ シリーズ 27
最上の子どもたち

**燃える闘魂
最上柔道
スポーツ少年団
の巻**



2年後に開催される東京オリンピックで大活躍が期待されているのが全国各地の柔道スポーツ少年団です。今回、お話を聞いた最上柔道スポーツ少年団もその中の一つであり、結成してから12年目を迎えます。最上柔道スポーツ少年団の練習は、週3日間、月・水・金曜日の午後6時半から行われています。場所は最上中学校の柔道場です。土・日曜に、随時行われる県内外への大会にも参加し

ています。普段の練習では、ストレッチや受け身などの準備運動の後、寝技での攻防で体を温めます。次に打ち込みを行い、立ち技の基本を練習します。最後は相手を次々替えての乱取り(実戦練習)です。

小・中・高一貫した活動

現在の団員は、7名の指導者の下、小学生10名(内2名は女子)、中学生7名の計17名です。年齢も体格も違う団員ですが、練習では相手の力を考えて組み合うなど、安全への配慮がなされています。

お話を聞きに伺ったとき、途中から数人の高校柔道部員が練習に加わってきました。全員が最上柔道スポーツのOBということとで、こういった光景は珍しいものではなく、いつものことというものでした。そのためか、小学生も中学生も自然に高校生に指導を受ける姿が見られました。現役の高校生が常に一緒に練習することで、質の高い練習ができるということです。最上柔

道スポーツ出身者が多い最上中柔道部は、地区大会において5連覇を果たしていますが、その背景にはこのような小・中・高一貫した取り組みが大きく貢献しているようです。

親子・兄弟で切磋琢磨

練習のまとめは実戦を想定した乱取りです。この日も高校生を交えた迫力ある練習が展開されていました。その中には親子や兄弟の組み合わせもありました。お互い手を抜くことなく、激しい攻防を繰り広げ、その真剣さに、見ているこちらが圧倒されました。今は親が、あるいは年上の兄が優勢ですが、いずれは逆転するかもしれません。また、そのようになってほしいというのが本当の願いでしょう。

練習は、多くの保護者が見守っていました。大会への引率や練習の送り迎えなど、保護者の協力なくしては、活動は成り立ちません。柔道の他にも子どもたちが楽しみにしているイベントに、クリスマス会や卒業生を

伝統を守り心と体を鍛える



送る会があるということですが、その運営も保護者会が全面的にバックアップしており、子どもたちのチームワーク同様、親のチームワークも万全のことです。日本発生のスポーツとして、いち早くオリンピック種目に採用された柔道は、いまや世界中に広がっています。勝敗のみを競うのではなく、相手を敬う心や礼儀を大事にするところが世界の人々に受け入れられたのでしょう。最上柔道スポーツ少年団の子どもたちが、これからも柔道を通して一層友情を深め、心と体を鍛えていくことを願っています。